

2023年12月28日
 一般社団法人 GOLD 日本委員会
 事務局（株式会社アース・ワン・オフィス内）
 （担当）大塚
 （電話）03-5360-4334 （FAX）03-5360-4336
 （E-Mail）info@gold-jac.jp

COPD 認知度把握調査 結果報告書

● GOLD 日本委員会事務局による COPD 認知度把握調査の実施

GOLD 日本委員会では、現在までに 16 回にわたって、インターネットによる COPD 認知度把握調査を実施してきました。以下のとおり、その概要と結果をご紹介します。

● 調査の概要

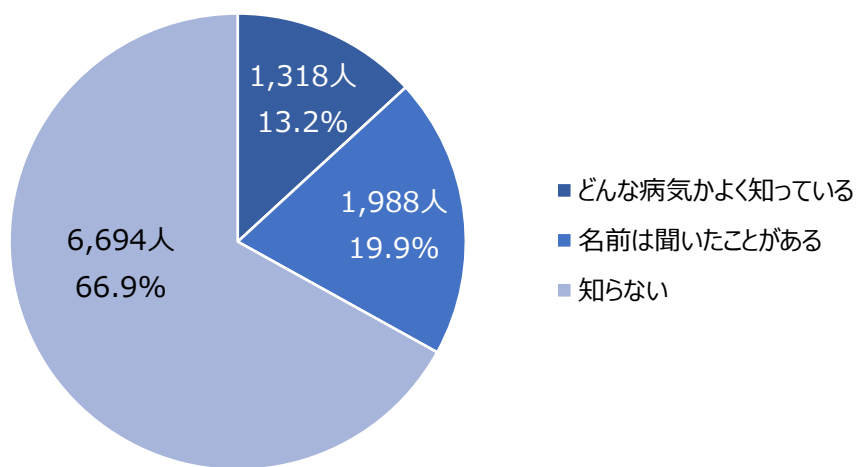
	1 次調査		2 次調査	
方 法	インターネット調査			
調査期間	【第 1 回】2009.7.23	【第 9 回】2016.12.1-5	【第 1 回】2009.7.27	【第 9 回】2016.12.2-5
	【第 2 回】2009.12.14	【第 10 回】2017.12.10-12	【第 2 回】2009.12.15-16	【第 10 回】2017.12.12-13
	【第 3 回】2010.12.6	【第 11 回】2018.12.3	【第 3 回】2010.12.7	【第 11 回】2018.12.4-5
	【第 4 回】2011.12.8	【第 12 回】2019.12.2	【第 4 回】2011.12.9	【第 12 回】2019.12.3-4
	【第 5 回】2012.12.14	【第 13 回】2020.12.10-11	【第 5 回】2012.12.15	【第 13 回】2020.12.11-13
	【第 6 回】2013.12.16	【第 14 回】2021.12.3-7	【第 6 回】2013.12.17-18	【第 14 回】2021.12.6-7
	【第 7 回】2014.12.8-10	【第 15 回】2022.12.13-14	【第 7 回】2014.12.9-11	【第 15 回】2022.12.13-14
	【第 8 回】2015.12.1-2	【第 16 回】2023.12.8-11	【第 8 回】2015.12.2-3	【第 16 回】2023.12.8-9
調査対象	性(男・女)、年代(20 代・30 代・40 代・50 代・60 歳以上)別に 1,000 人ずつを均等ランダム抽出した 10,000 人		1 次調査で COPD が「どんな病気かよく知っている」と回答した人の中から性(男・女)、年代(20 代・30 代・40 代・50 代・60 歳以上)別に 11 回人ずつを均等ランダム抽出した 110 人	
調査内容	Q1. あなたは COPD(シー・オー・ピー・ディー)という病気を知っていますか？		Q1. あなたは喫煙したことがありますか？	
	Q2. 以下の中で、聞いたことがある病気をお選びください。 (慢性閉塞性肺疾患、肺気腫、慢性気管支炎)		Q2. COPD(シー・オー・ピー・ディー)という病気について知ったのはいつですか？	
	Q3. あなたは「肺年齢」の検査について知っていますか？		Q3. どのような経路で COPD について知りましたか？	
			Q4. COPD の原因の 90%以上は喫煙であることを知っていますか？	
			Q5. 喫煙経験のある 40 歳以上の 8 人に 1 人は、COPD の可能性があることを知っていますか？	
			Q6. COPD の主な症状は慢性的な咳と痰(たん)、息切れであることを知っていますか？	

資料

● COPD 認知度とその推移 (1次調査 Q1) 【2023年12月調査】

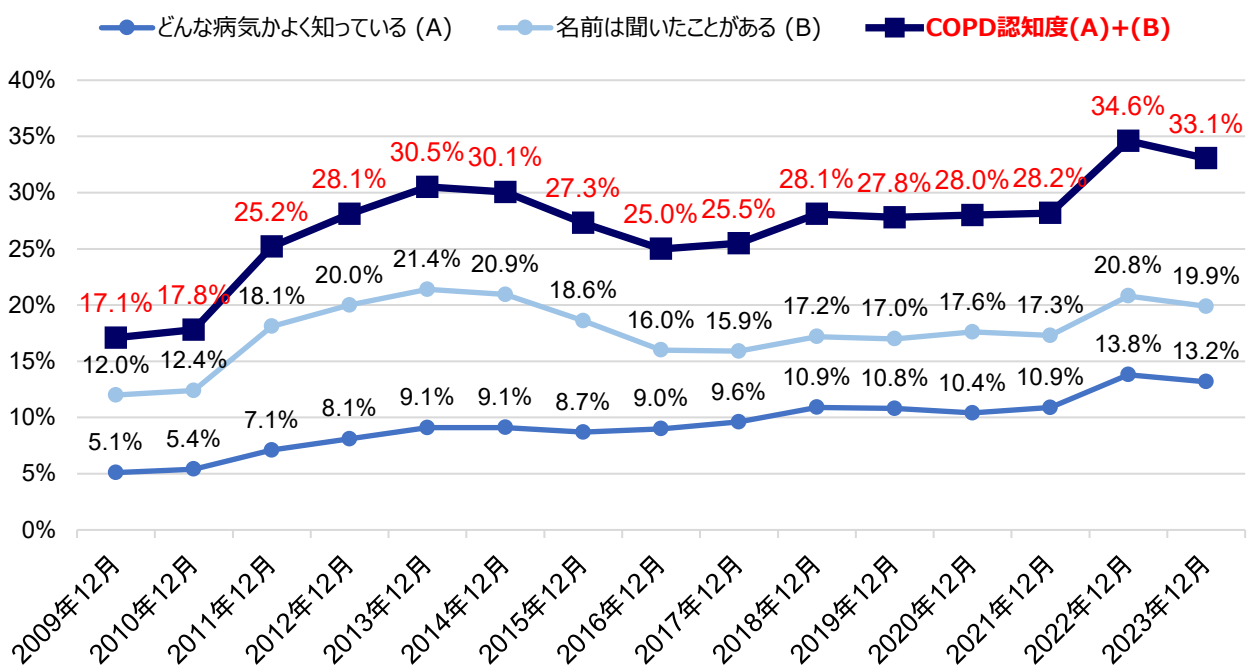
「あなたは COPD (シー・オー・ピー・ディー) という病気を知っていますか?」という質問に対して、「どんな病気かよく知っている」「名前は聞いたことがある」と答えた人は、合わせて 3,306 人 (33.1%) となった。COPD の認知度は調査を開始した 2009 年から 17% 台で推移していたが、その後は 2013 年の 30.5% をピークに 25% から 30% 台の間で推移し、2022 年は 34.6% と過去最高となった。2023 年の結果は昨年より 1.5 ポイントのマイナスとなった。年代別では 20 歳代が 39.2% で一番高く、続いて 30 歳代が 36.0% で、全体の認知度を上回った。

COPD 認知度 (2023年12月調査)



(単一回答 n=10,000)

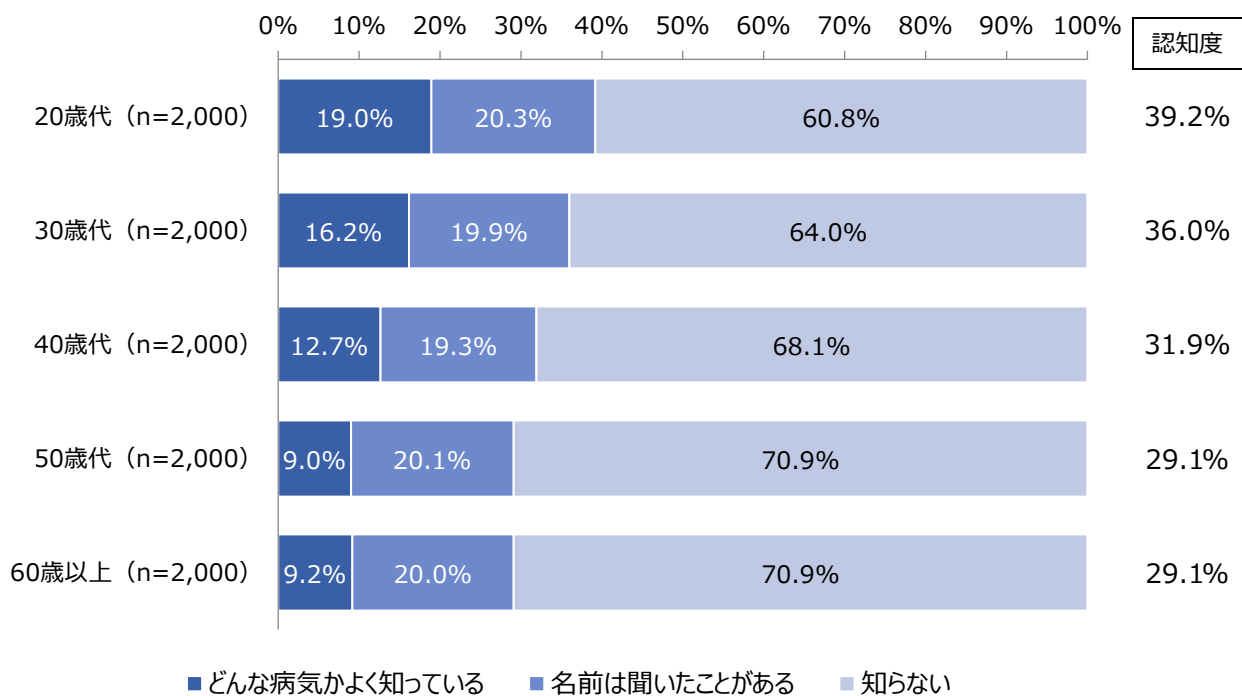
COPD 認知度の推移



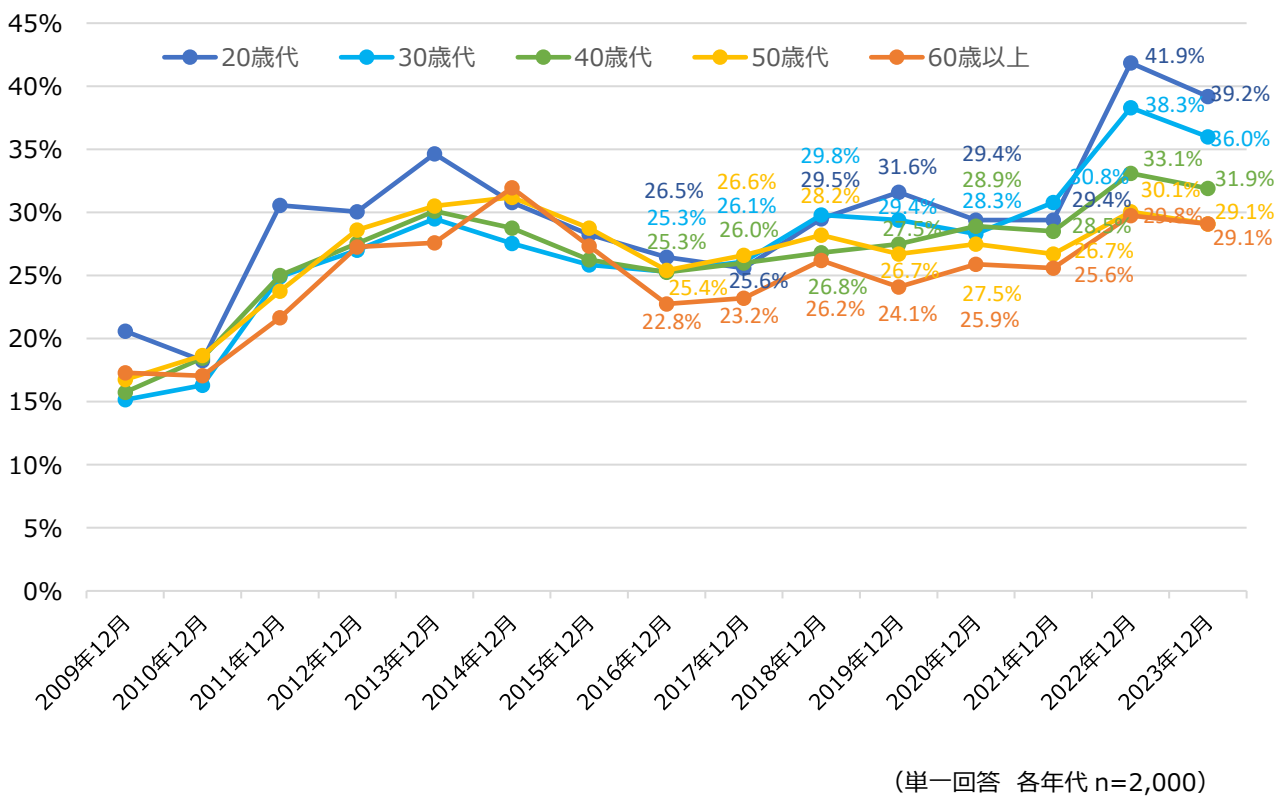
(単一回答 各 n=10,000)

資料

年代別 COPD 認知度



年代別 COPD 認知度の推移



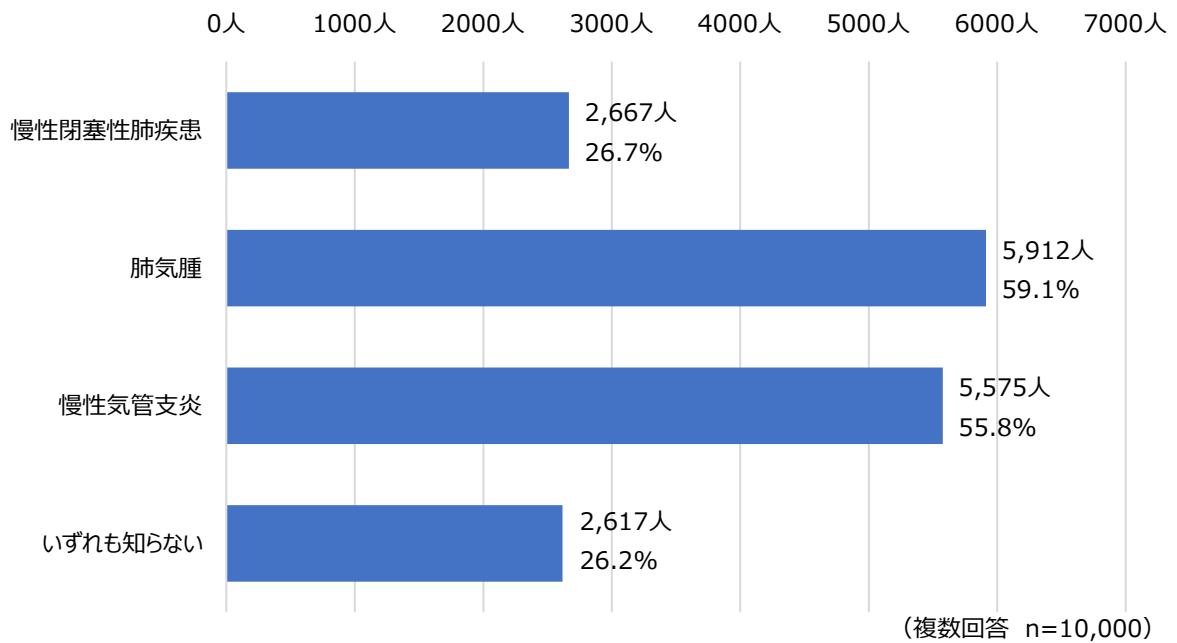
(単一回答 各年代 n=2,000)

資料

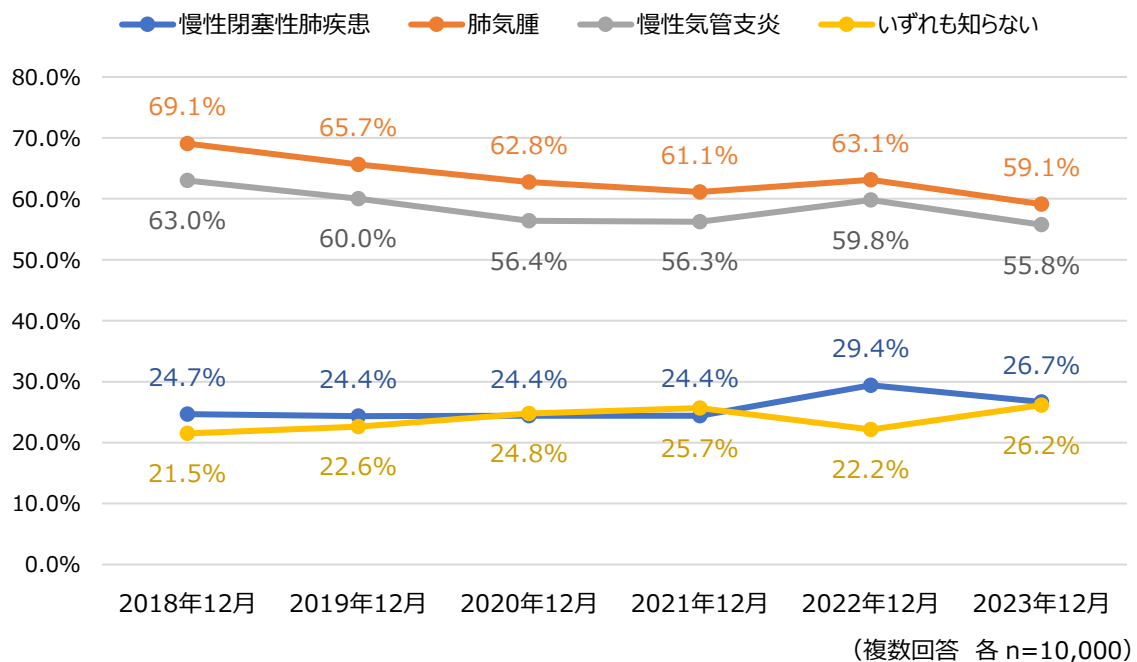
● 「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の認知の度合い（1次調査 Q2）【2023年12月調査】

「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の中で聞いたことがある病気を質問したところ、「肺気腫」が5,912人（59.1%）、「慢性気管支炎」が5,575人（55.8%）と2022年の調査同様、高い結果となったが、調査開始以降、下降傾向となっている。「慢性閉塞性肺疾患」は2,667人（26.7%）で、「肺気腫」に比べて聞いたことがある人は半数程度となった。

「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の認知度合い（2023年12月調査）



「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の認知度合い推移

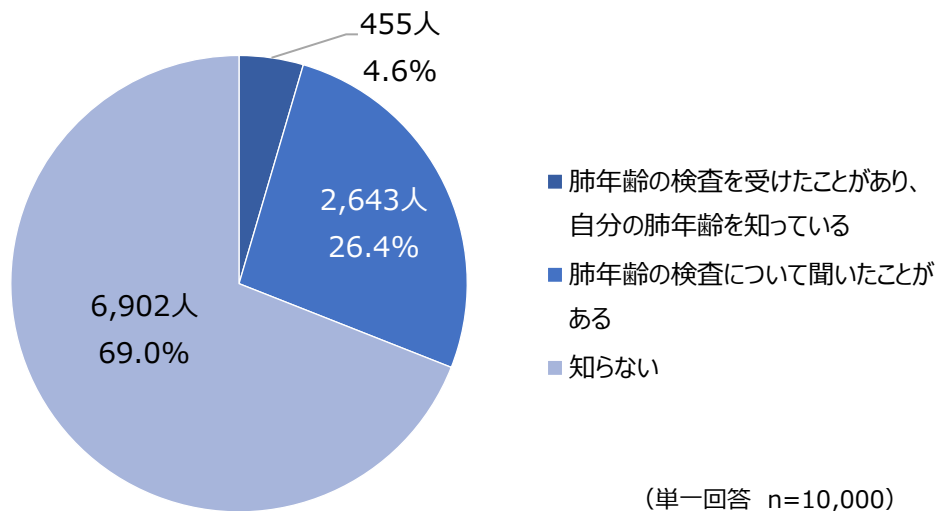


資料

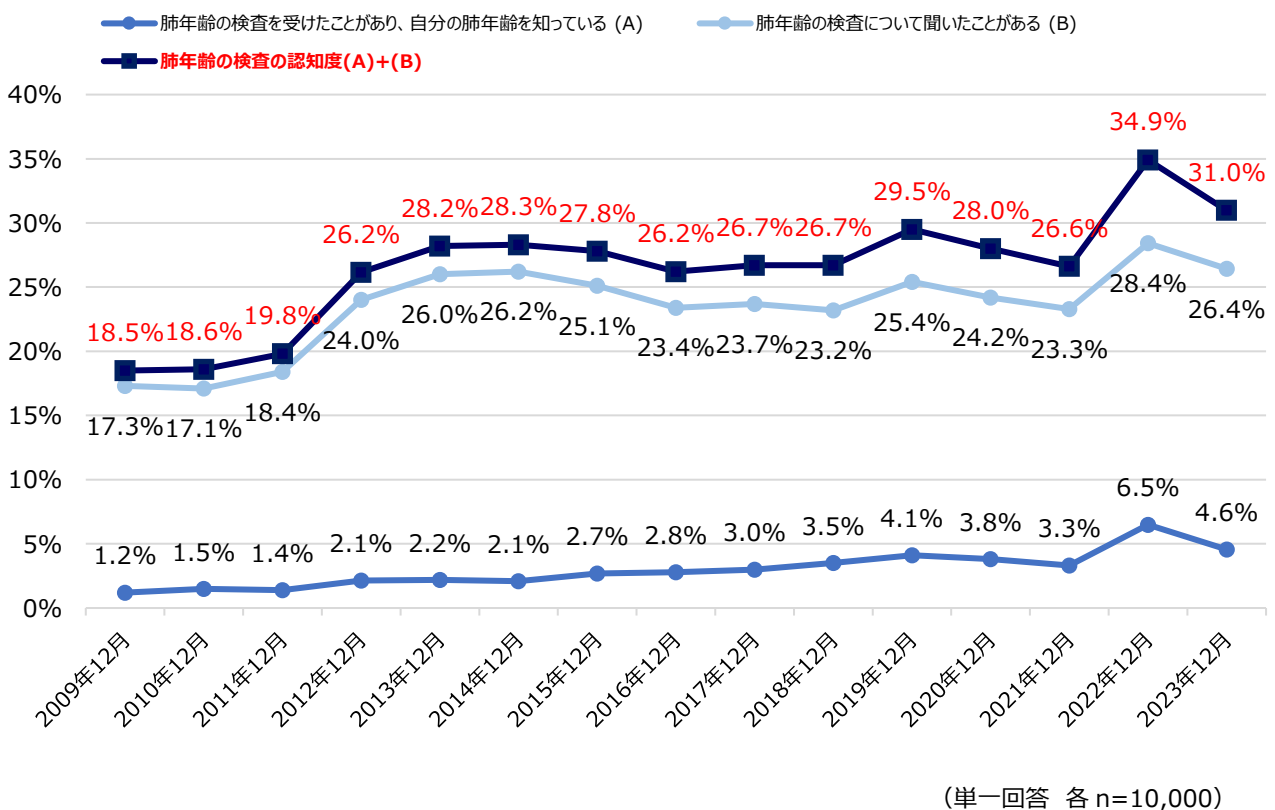
肺年齢の検査の認知度とその推移（1次調査 Q3） 【2023年12月調査】

「あなたは『肺年齢』の検査について知っていますか？」という質問に対して、「肺年齢の検査を受けたことがあり、自分の肺年齢を知っている」「肺年齢の検査について聞いたことがある」と答えた人は合わせて3,098人（31.0%）で、2022年（34.9%）と比べ3.9ポイント下降した。2009年から2011年にかけての4回の調査では肺年齢の認知度は19%前後でほとんど変化がみられなかったが、2012年には26.2%に上昇し、以後26~28%台で推移していた。

肺年齢の検査の認知度（2023年12月調査）

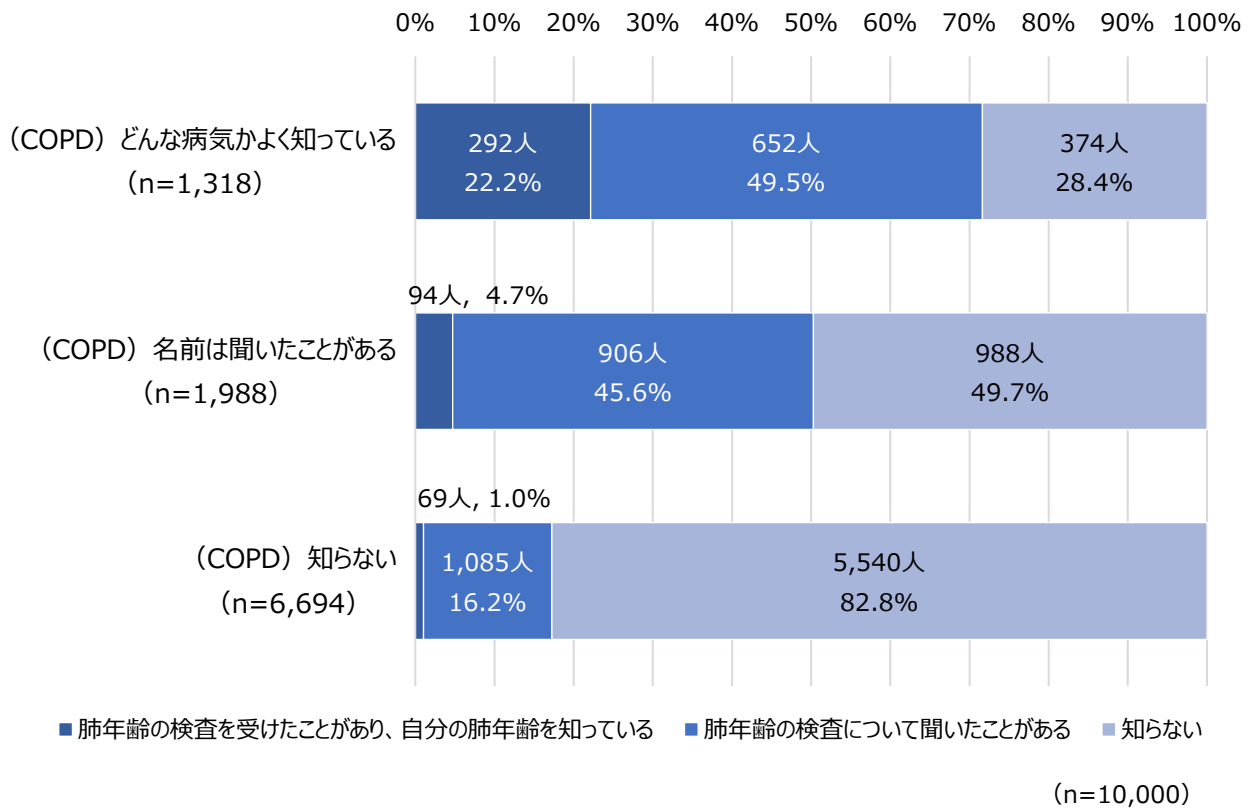


肺年齢の検査の認知度の推移

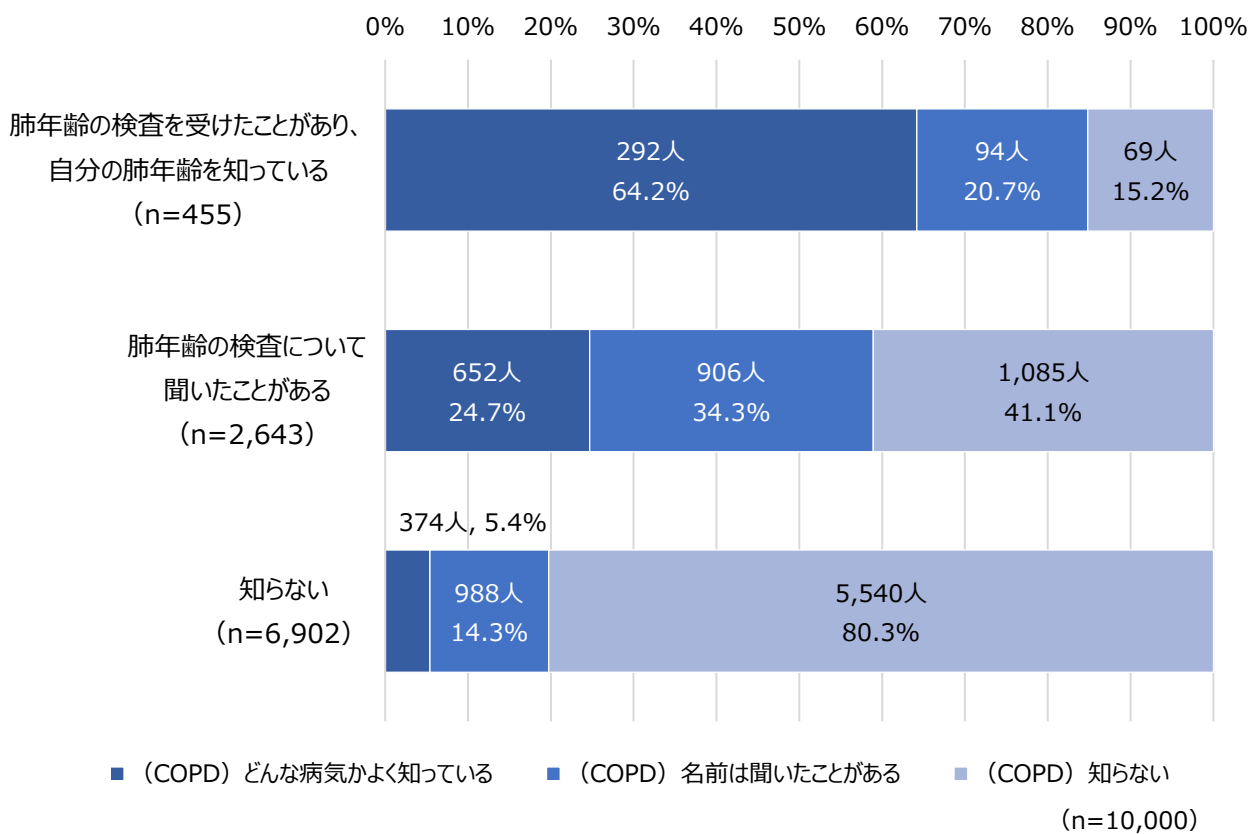


資料

● COPD と肺年齢の認知度の関係 (1次調査 Q1×Q3) 【2023年12月調査】



● COPD と肺年齢の認知度の関係 (1次調査 Q3×Q1) 【2023年12月調査】

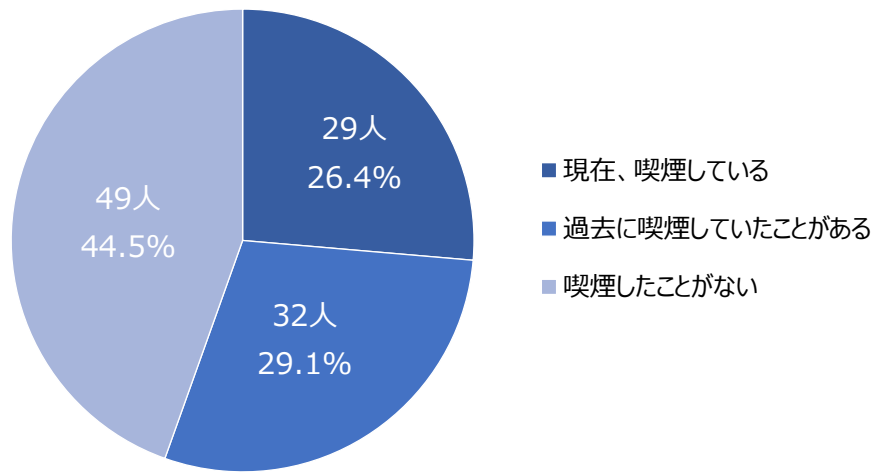


資料

● 喫煙経験の度合い（2次調査 Q1） 【2023年12月調査】

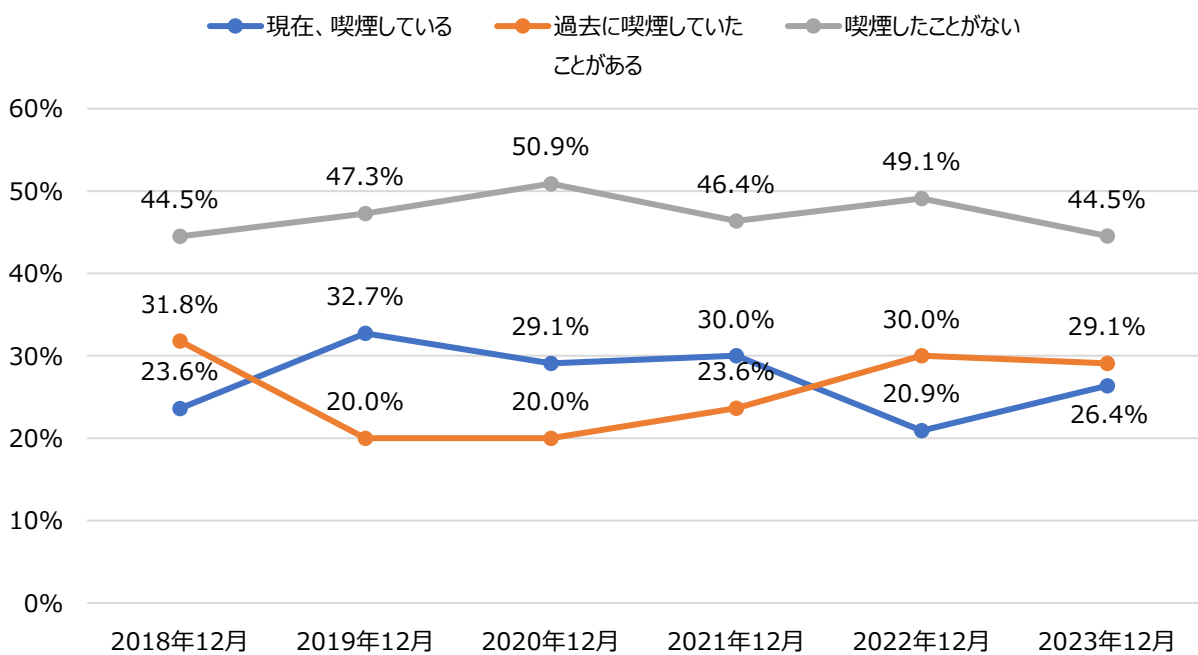
喫煙経験について質問したところ、「現在、喫煙している」と答えた人は26.4%（29/110人）、「過去に喫煙していたことがある」と答えた人は29.1%（32/110人）で、「COPDがどんな病気かよく知っている」と答えた人の約半数が喫煙経験者という結果となった。

喫煙経験の度合い（2023年12月調査）



（単一回答 n=110）

喫煙経験の推移



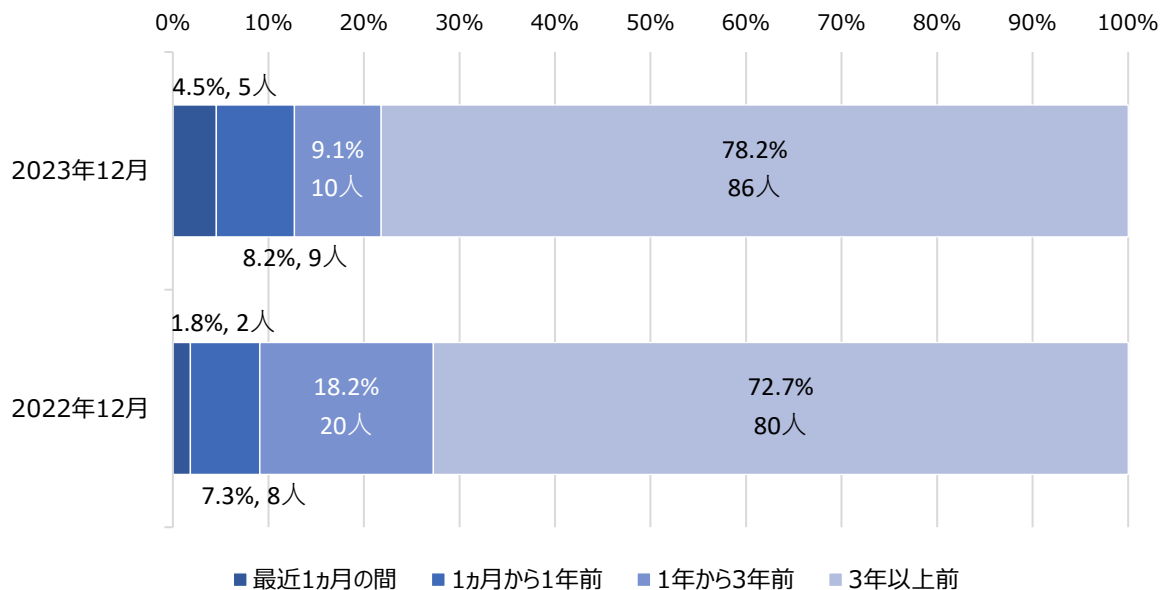
（単一回答 各 n=110）

資料

● COPDの認知時期（2次調査 Q2） 【2023年12月調査】

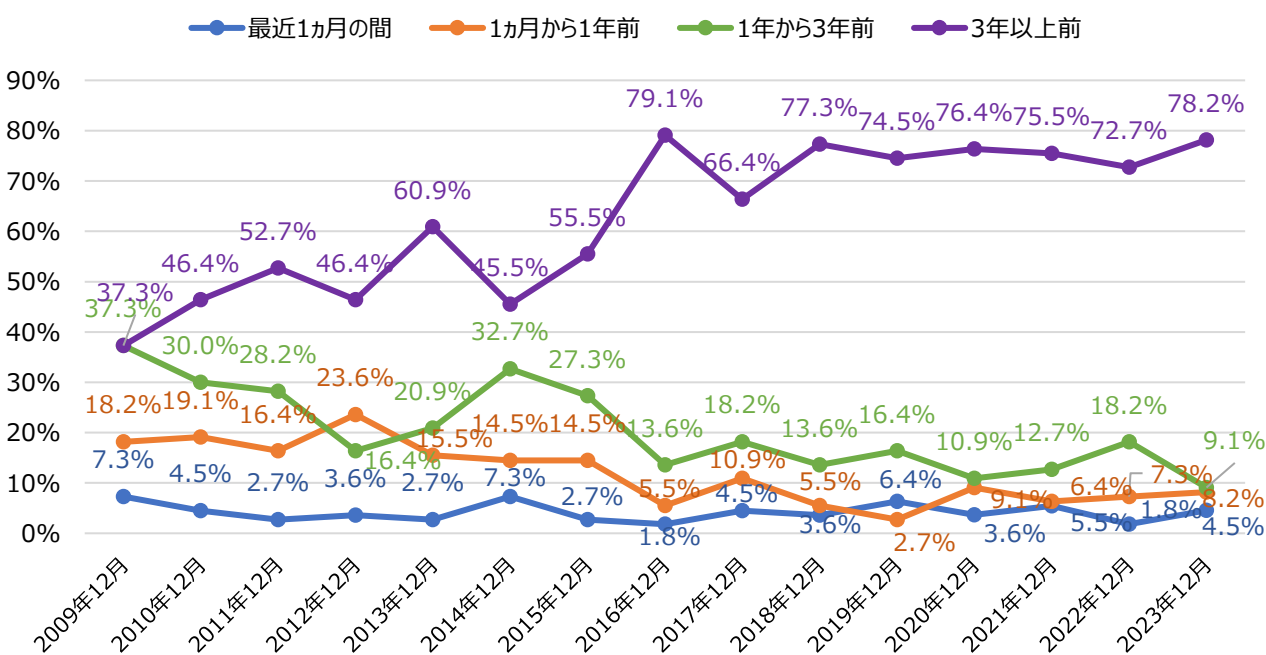
「COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気について知ったのはいつですか？」という質問に対して、最も多かった回答は「3年以上前」の78.2%（86人）であった。また、この1年の間に新たにCOPDを知った人は合わせて12.7%（14人）で、2022年と比べてやや増加した。1年から3年前は9.1%（10人）で、2022年と比べて半減した。

COPDの認知時期（2023年調査・2022年調査比較）



(単一回答 各 n=110)

COPDの認知時期の推移



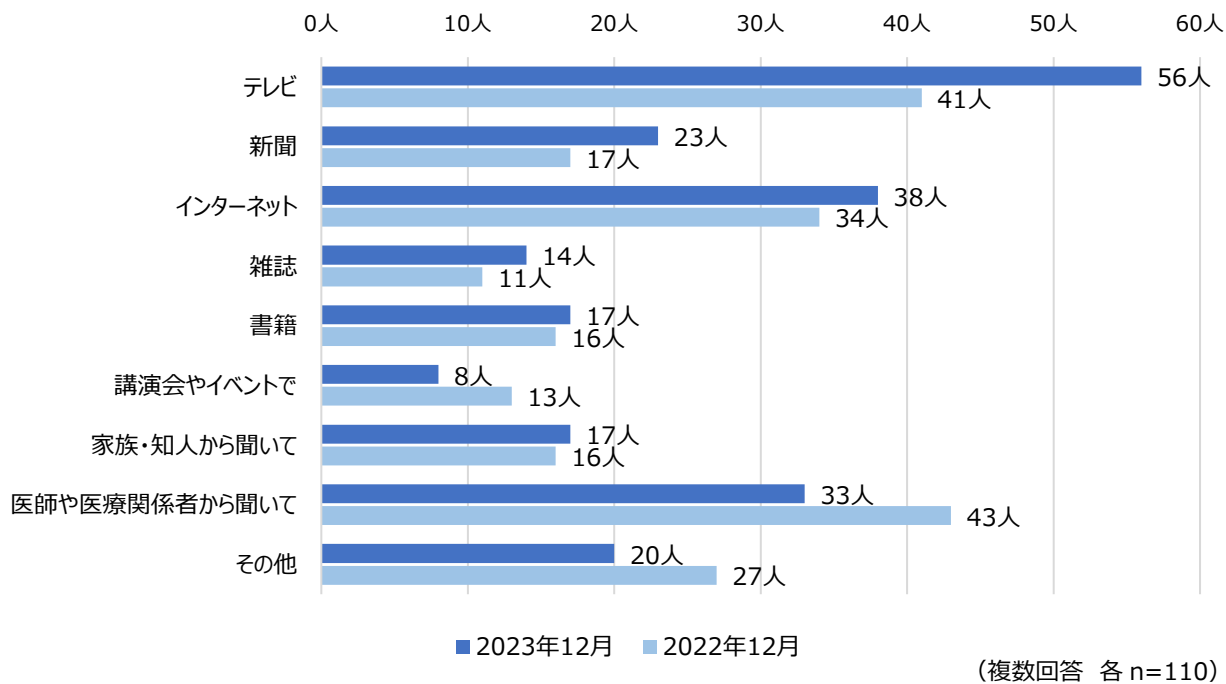
(単一回答 各 n=110)

資料

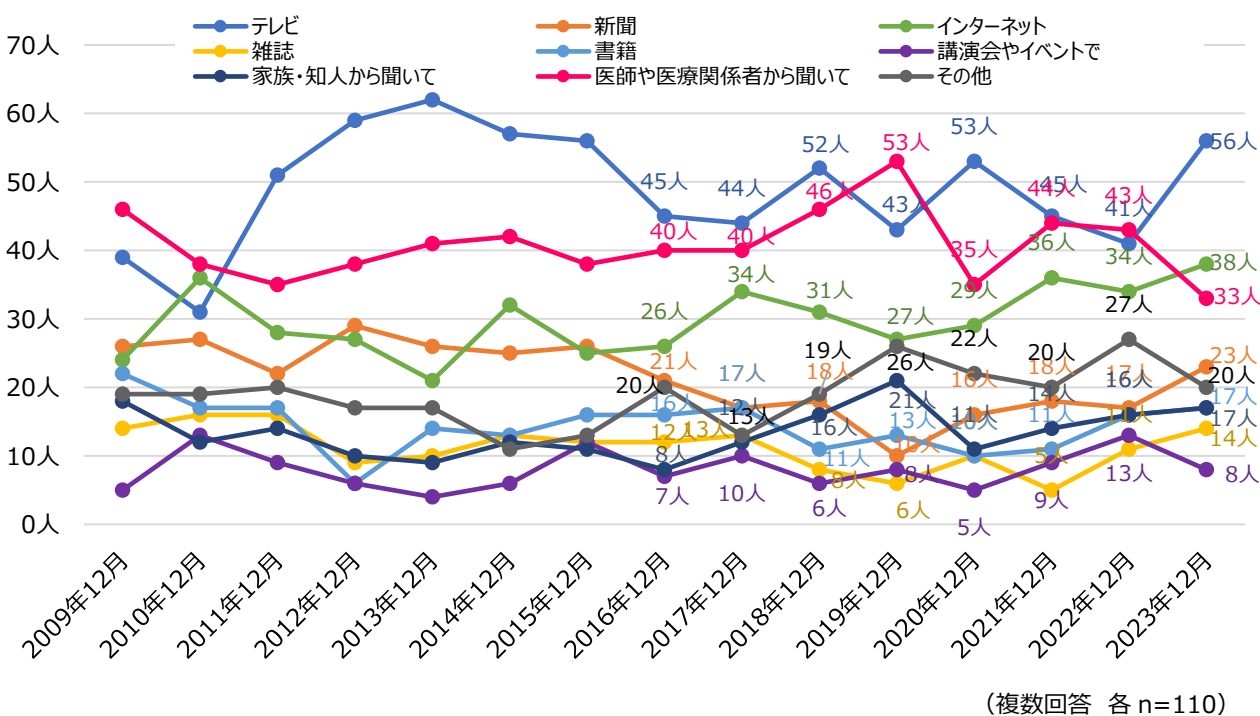
● COPD の認知経路（2次調査 Q3） 【2023年12月調査】

「どのような経路で COPD について知りましたか？」という質問（複数回答）で回答が多かったのは「テレビ」56人、「インターネット」38人、「医師や医療関係者から聞いて」33人でした。2022年に比べると「新聞」も増加した。

COPD の認知経路（2023年調査・2022年調査 比較）



COPD の認知経路の推移

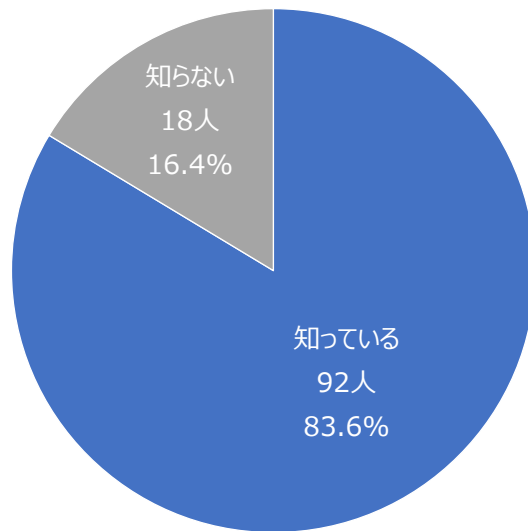


資料

● 「COPD の原因の 90%以上は喫煙であること」の認知度（2次調査 Q4） 【2023年12月調査】

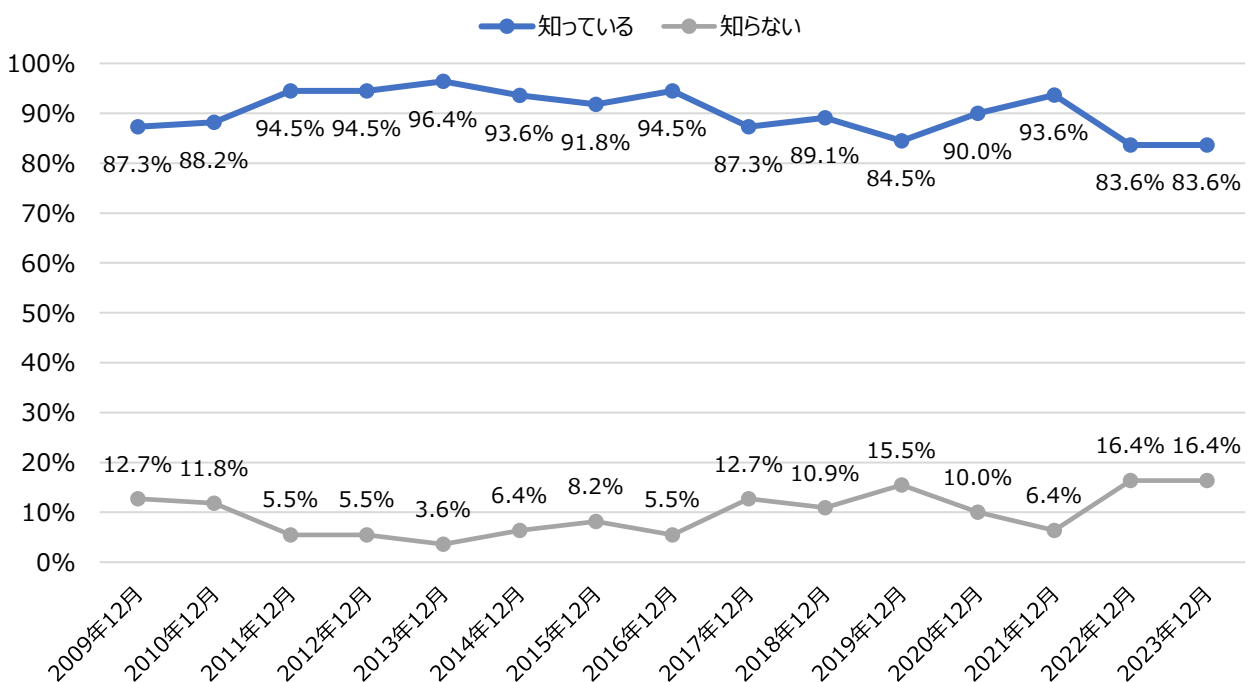
「COPD の原因の 90%以上は喫煙であることを知っていますか？」という質問に対して、「知っている」と答えた人は 92 人（83.6%）であり、COPD を知っている人の大部分が COPD の原因を正しく認識しているといえる結果となった。認知度も 2022 年と同様であった。

「COPD の原因の 90%以上は喫煙である」ことの認知度（2023年12月調査）



（単一回答 n=110）

「COPD の原因の 90%以上は喫煙である」ことの認知度の推移



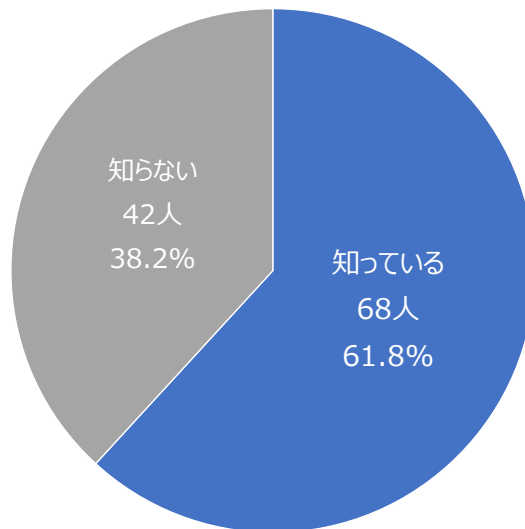
（単一回答 各 n=110）

資料

- 「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性がある」ことの認知度（2次調査 Q5）
【2023年12月調査】

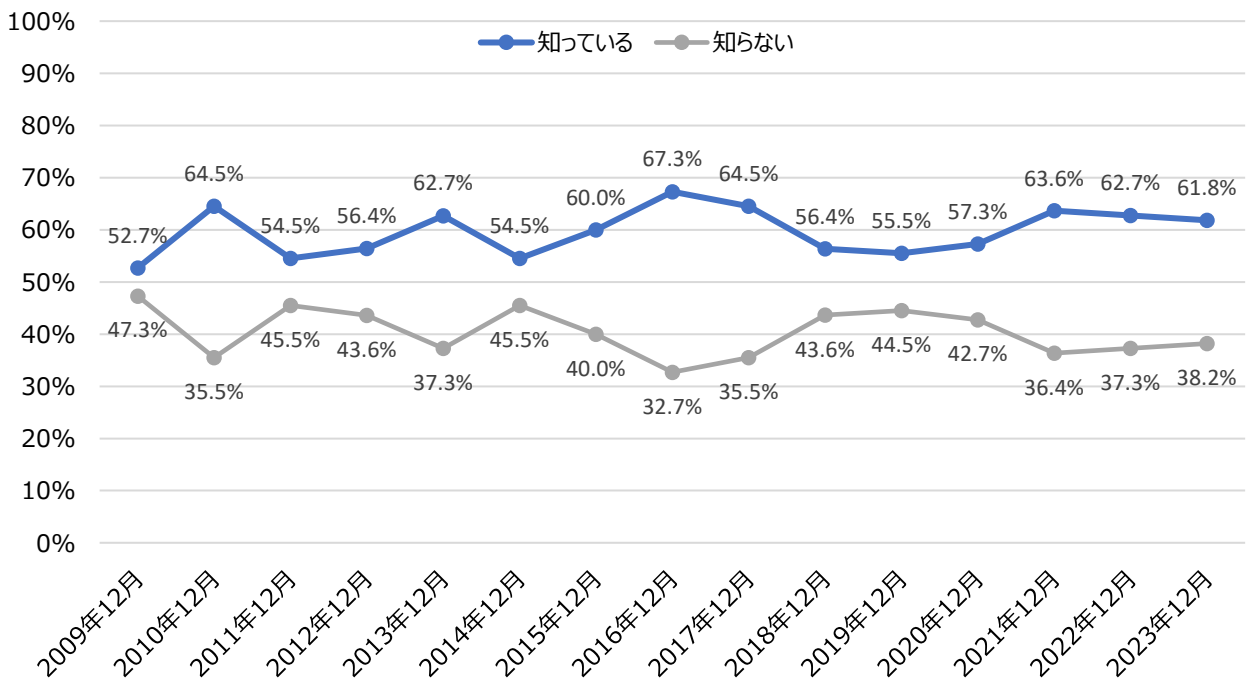
「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性を知っていますか？」という質問に対して、「知っている」と答えた人は68人（61.8%）で、COPDを知っている人の半数以上は喫煙経験、年齢とCOPDの関連を正しく認識しているといえる結果となった。しかし、認知度は2022年に比べ、わずかに減少した。

「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性がある」ことの認知度（2023年12月調査）



（単一回答 n=110）

「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性がある」ことの認知度の推移



（単一回答 各 n=110）

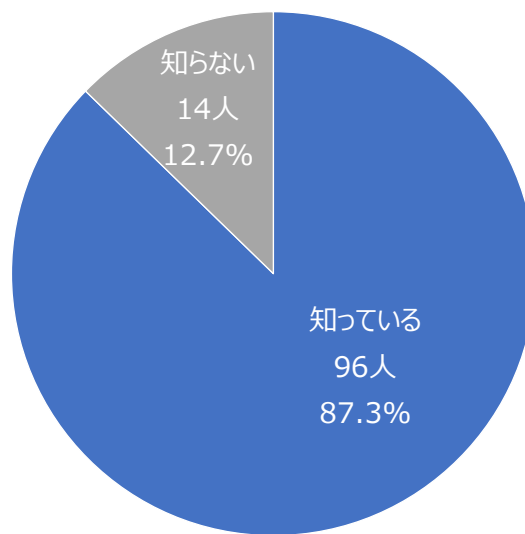
資料

- 「COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れである」ことの認知度（2次調査 Q6）

【2023年12月調査】

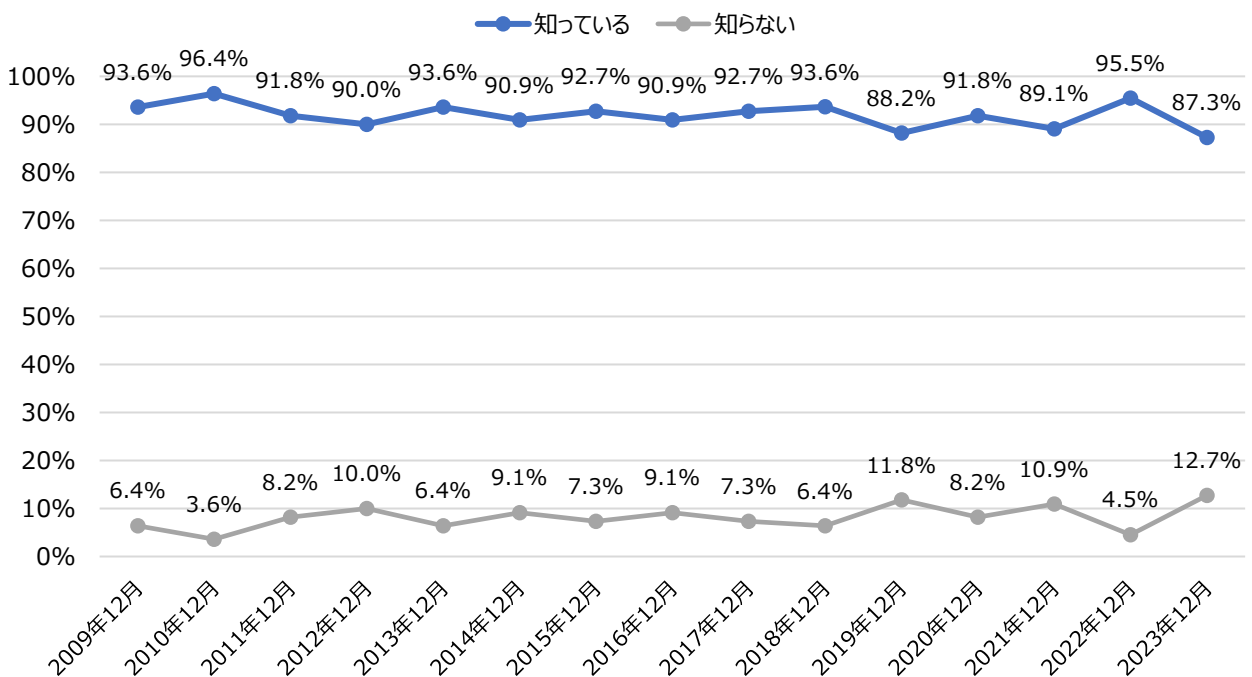
「COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れであることを知っていますか？」という質問に対して、「知っている」と答えた人は96人（87.3%）で、大部分の人がCOPDの主な症状を正しく認識しているといえる結果となった。

「COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れである」ことの認知度（2022年12月調査）



（単一回答 n=110）

「COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れである」ことの認知度の推移



（単一回答 各 n=110）